

「ニッセイ熊本の森」の育樹活動を実施

12月5日、当署管内小萩国有林の「ニッセイ熊本の森」において、公益財団法人「ニッセイ緑の財団」主催による育樹活動が、日本生命保険相互会社、県内協力企業及び当署職員6名を含む57名が参加して開催されました。この「ニッセイの熊本の森」は、2009年に法人の森林として協定した分収造林地で、ヒノキ・クヌギ・サクラが植栽されており、昨年は新型コロナの影響で中止になりましたが、毎年多くの関係者が参加して育樹活動に取り組んでいます。

当日は秋晴れの中、開会式では主催者挨拶に続いて川畑充郎署長から「今後とも我が国のトップランナーとして、緑豊かな森林と森林を愛する子供達を育成して未来の地球へ引き継いで頂くことを期待します」との来賓挨拶を行った後、熊本森林事務所の永野達也森林官が作業上の注意事項等について指導しました。

参加者は10班に分かれてヒノキの植栽エリアで枝打ちと間伐作業を行い、当署職員及び（有）秋吉林業の指導のもと慣れない作業に苦労した様子でしたが、作業後は陽光が降り注ぐようになった林内を眺めて、「いい汗をかいて楽しかった、林内が明るくなり達成感がある」などの声が聞かれ、森林と触れ合う良い一日となりました。



(参加者全員で記念撮影)



(間伐作業の様子)